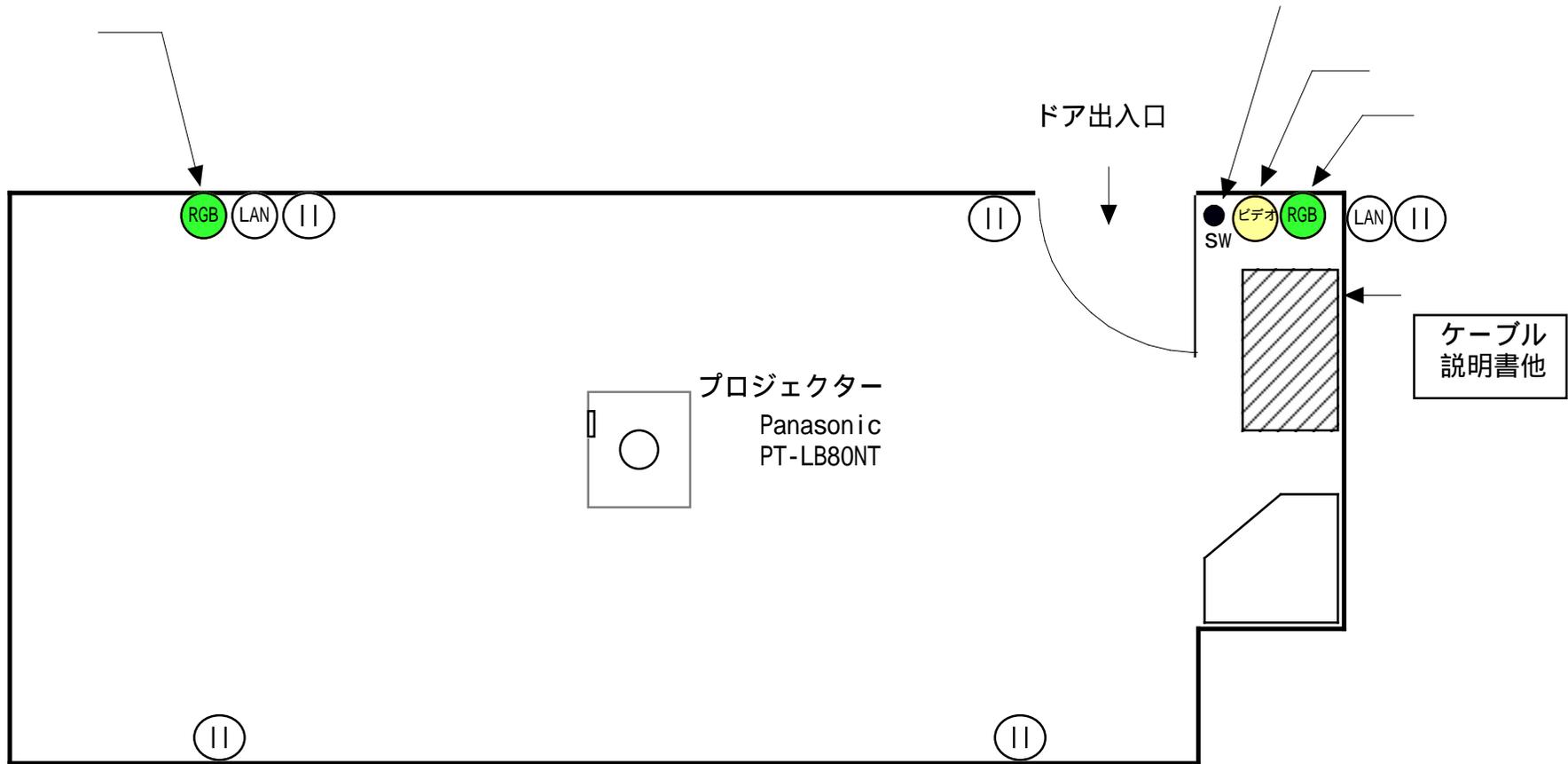

小セミナー室 1 プロジェクター利用手引書

作成日 2009年7月8日

作成者 石塚 秀喜

別紙

小セミナー室 1



| No. | 名 称 | No. | 名 称 |
|-----|-----------------------|-----|--------|
| | 主電源スイッチ | | プロジェクト |
| | RGB 接続端子 (COMPUTER 1) | | |
| | RGB 接続端子 (COMPUTER 2) | | |
| | VIDEO 入力端子 | | |
| | キャビネット | | |

| | | | |
|-----|-----------|----|-----|
| 図番号 | 1 | 名称 | 配置図 |
| 作成者 | Ishitsuka | | |

はじめに

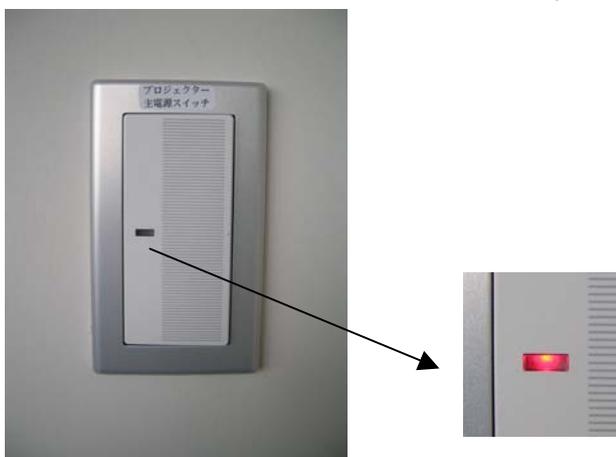
6階の小セミナー室1へ設置しました、プロジェクター利用について説明致します。
はじめに、プロジェクターの主電源スイッチやRGB入力端子などの配置につきましては、別紙の配置図にてご確認ください。

尚、取扱説明書、RGB(VGA)ケーブル、ソフトCD-ROM等、必要な付属品についてはキャビネット(配置図⑤)の下段引き出しへ収納して置きます。

プロジェクターの利用手順

1. プロジェクターの主電源スイッチを入れる。

※ ドアを入れて左側にスイッチがあります。(配置図 ①)



スイッチを押すと、スイッチの赤ランプが点灯し、電源が「ON」します。

2. プロジェクターの電源ランプ点灯

スイッチを入れると、プロジェクター本体の電源ランプが赤く点灯します。

注) 主電源スイッチを入れてから、本体電源ランプが点灯するまで、3秒ほど掛かります。

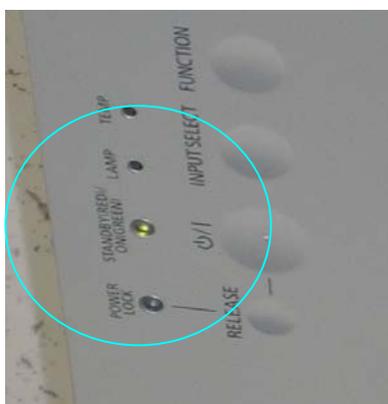


プロジェクターは、「スタンバイ状態」になります。

3. リモコンにて、電源を入れる。

主電源スイッチを入れてから、本体の電源ランプが赤色に点灯または点滅し、スタンバイ状態になりますが、投写はされません。

「投写状態」にするには、リモコンの電源ボタンを押して「ON」します。



「ON」すると、本体電源ランプが緑色に点灯し、投写が始まります。

4. パソコンとの接続

パソコンとプロジェクターを接続する方法は、2つの方法があります。

1つは、無線 LAN にて接続する方法、そして2つ目は RGB (VGA) のケーブルにて接続する方法です。

それでは、各接続方法について説明します。

4-1 無線 LAN による接続

1) Wireless Managaer ME 5.0 のインストール

無線 LAN にて接続するためには、パソコンへ前もって専用ソフトの「Wireless Managaer ME 5.0」をインストールする必要があります。

ソフトは、CD-ROM、USB メモリー、または、メーカーホームページからソフトをダウンロードしてインストールしてください。

※ CD-ROM はセミナー室へ置きます。

※ USB メモリーも準備できましたら、セミナー室へ置きます。

ソフトのダウンロードページ

<http://panasonic.biz/projector/support/application/index2.html>

メーカー : Panasonic
機種名 : PT-LB80NT

ダウンロード手順 (Windows XP)

1. メーカーダウンロードページへアクセス

<http://panasonic.biz/projector/support/application/index2.html>

2. ソフトウェアを選択

パナソニックシステムプロジェクター用ソフトウェア

1. [マルチプロジェクター モニタリング&コントロールソフトウェア](#)
(2008年6月24日 更新)

| | |
|---|--|
| PT-FW300NT/FW300/F300NT/F300用ソフトウェア | PT-LW80NT/LB80NT/LB75NT用ソフトウェア |
| 1. ワイヤレスマネージャーME5.5 (2008年12月12日 更新) | 1. ワイヤレスマネージャーME5.0 (2008年12月22日 更新) |
| PT-FW100NT/F200NT/F100NT/LB51NT用ソフトウェア | TH-LB60NT/LB55NT/LB50NT用ソフトウェア |
| 1. ワイヤレスマネージャーME4.5 (2008年10月1日 更新) | 1. ワイヤレスマネージャーME3.0 ※Windows Vista®搭載のパソコンでは、ワイヤレスマネージャーME4.5をご利用ください。 ※Mac OS X Ver1.0.4 / Ver1.0.5搭載のパソコンでは、ワイヤレスマネージャーME4.5をご使用ください。 (2007年1月26日 更新) |

↓

ダウンロードソフト

3. OS を選択

Windows® 用

| | | | |
|---|--|---|--|
|  | ワイヤレスマネージャー ME5.0bを Windows®パソコンに インストールして使う |  | ワイヤレスマネージャー ME5.0bを Windows®パソコンに インストールしないで使う |
|---|--|---|--|

※ 使用できる機能に制約がありますが、以下の機種でも使用できます。
TH-LB10NT/TH-LB20NT/TH-LB30NT/TH-LB50NT/PT-LB51NT/
TH-LB55NT/TH-LB60NT/PT-F100NT/PT-F200NT/PT-FW100NT

Machintosh 用

| | |
|---|--|
|  | ワイヤレスマネージャー ME5.0を Macintoshパソコンに インストールして使う |
|---|--|

※ 使用できる機能に制約がありますが、以下の機種でも使用できます。
TH-LB50NT/PT-LB51NT/TH-LB55NT/TH-LB60NT/
PT-F100NT/PT-F200NT/PT-FW100NT

↓

| [アプリケーションソフトダウンロードTOP](#) |

[ページトップへ戻る](#)

4. ダウンロード

【ダウンロード・インストール方法】

<一括ダウンロード>

ダウンロードボタンをクリック

[ダウンロード](#) [LB80NT_WMME.exe(16.7MB)]

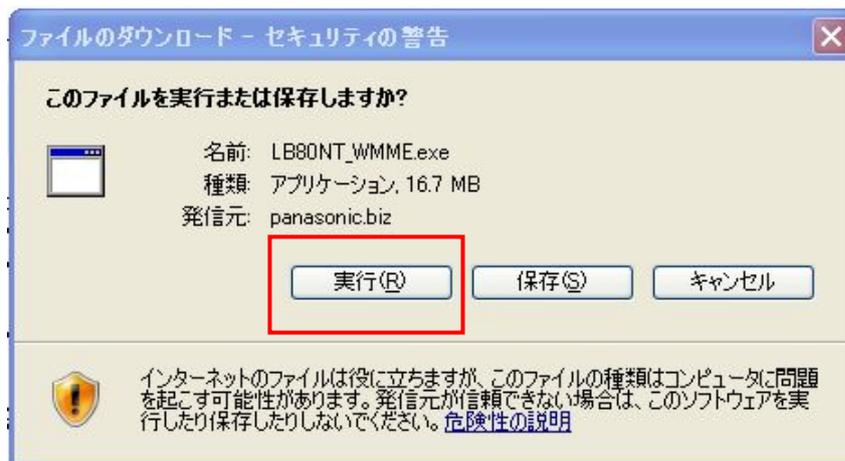
1. 上の「ダウンロード」ボタンにマウスカーソルを合わせ、右クリックし「対象をファイルに保存」をクリックして、任意のフォルダにダウンロードしてください。ダウンロードした「LB80NT_WMME.exe」をダブルクリックすると自己解凍が始まり[WM_ME]フォルダが生成されます。
2. [WM_ME]フォルダ内の[setup]アイコンをダブルクリックしてください。



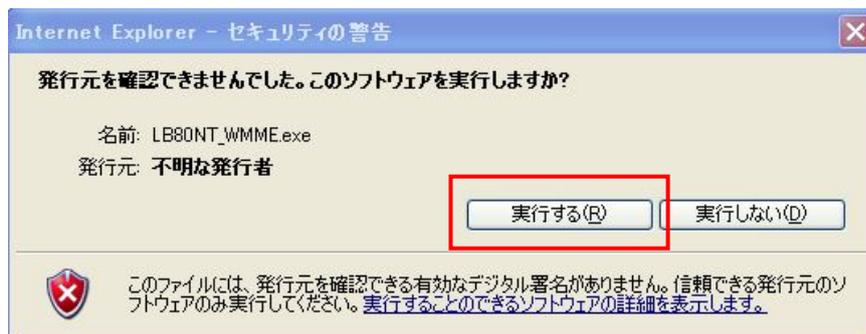
<分割ファイルのダウンロード>

[ダウンロード-1](#) [LB80NT_dWMME.d02(3.3MB)] [ダウンロード-2](#) [LB80NT_dWMME.d03(3.3MB)]
[ダウンロード-3](#) [LB80NT_dWMME.d04(3.3MB)] [ダウンロード-4](#) [LB80NT_dWMME.d05(3.3MB)]
[ダウンロード-5](#) [LB80NT_dWMME.exe(3.3MB)]

5. 実行ボタンを押す

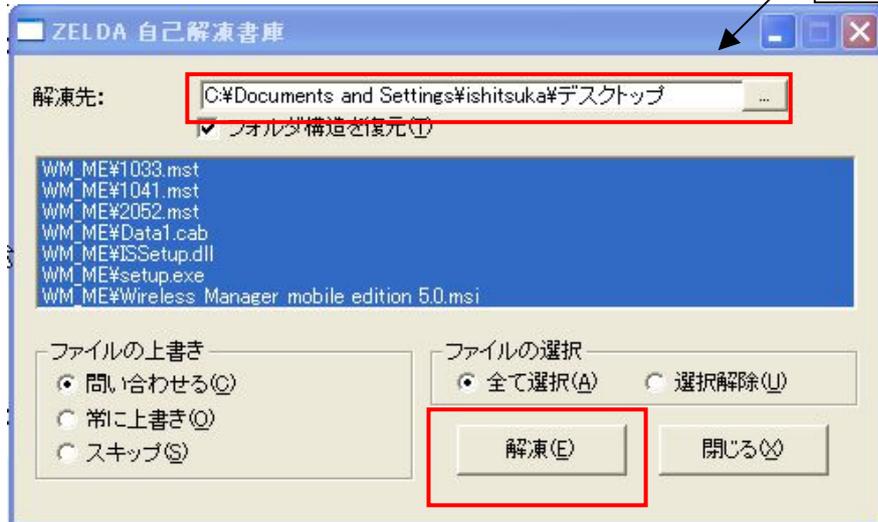


6. 「実行する」ボタンを押す



7. 解凍先を指定して解凍ボタンを押す

解凍先を指定



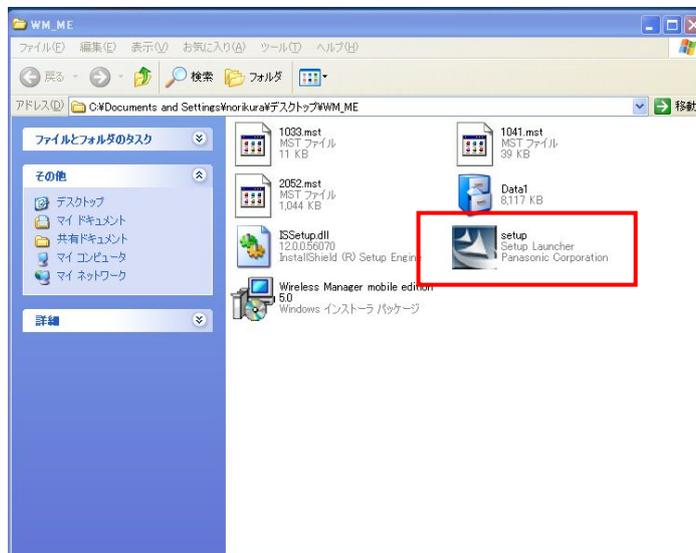
8. 「WM_ME」名のファイルが作成されます。



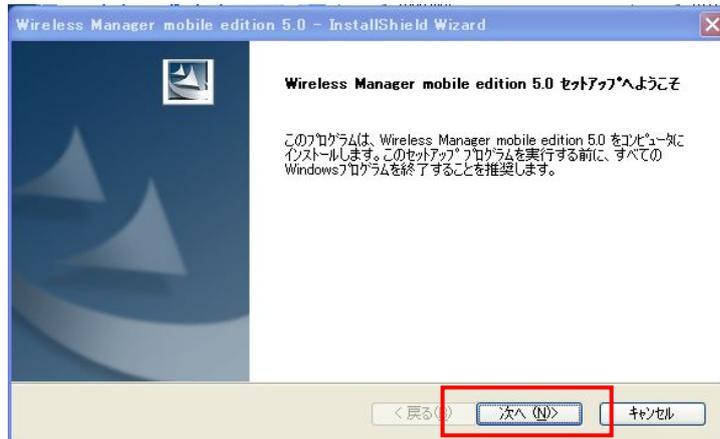
ダウンロード完了です。

インストール手順

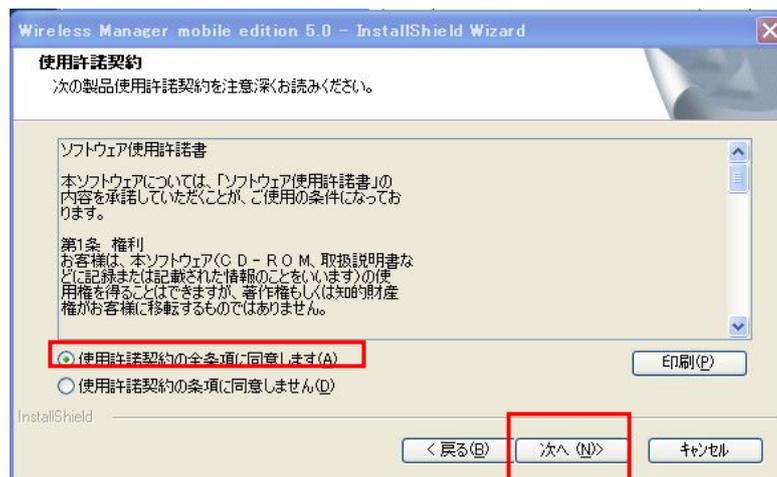
1. 「VM_ME」フォルダーを開きます。
2. フォルダー内の「setup」をダブルクリックしてインストールを開始します。



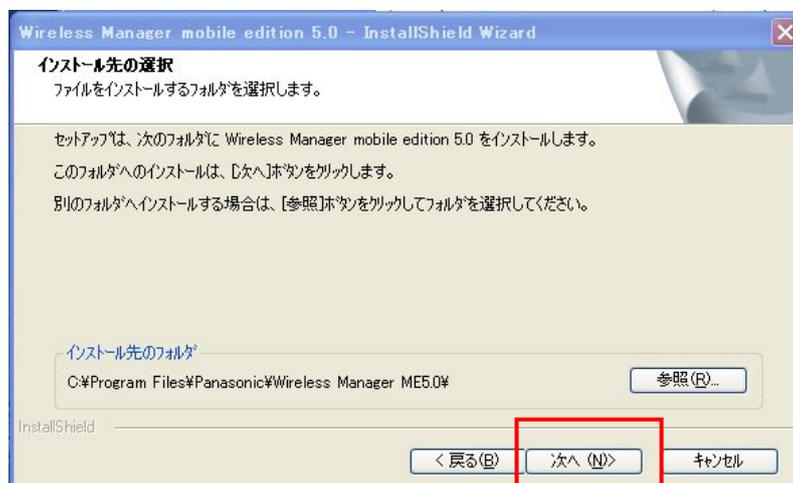
3. 「次へ」をクリック



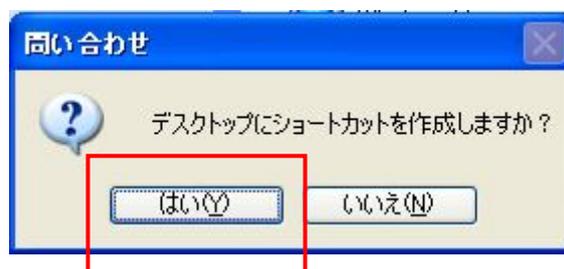
4. 同意にチェックを入れて、「次へ」をクリック



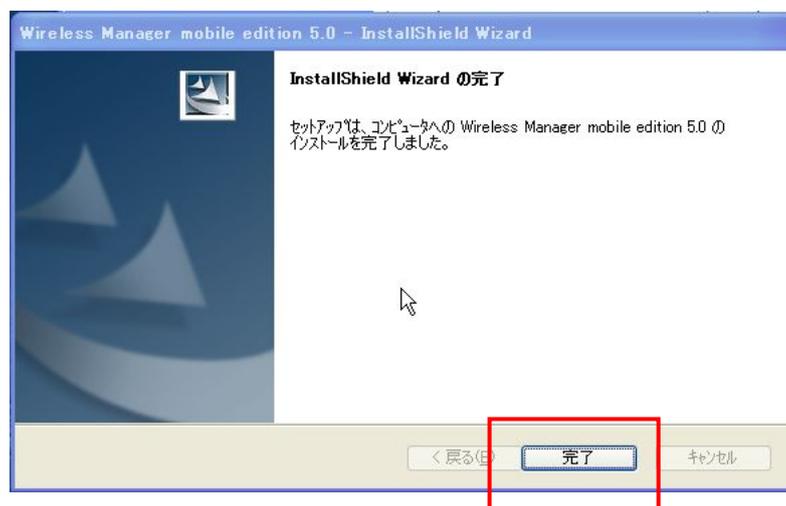
5. インストール先を確認して、「次へ」をクリック



6. 「はい」をクリック



7. 「完了」ボタンをクリック



8. デスクトップ画面に「 Wireless Managaer ME 5.0」のアイコンが表示されます。



インストールの完了です。

これで「Wireless Managaer ME 5.0」がインストールされ、プロジェクターと接続する準備ができました。

2) プロジェクターと接続する。

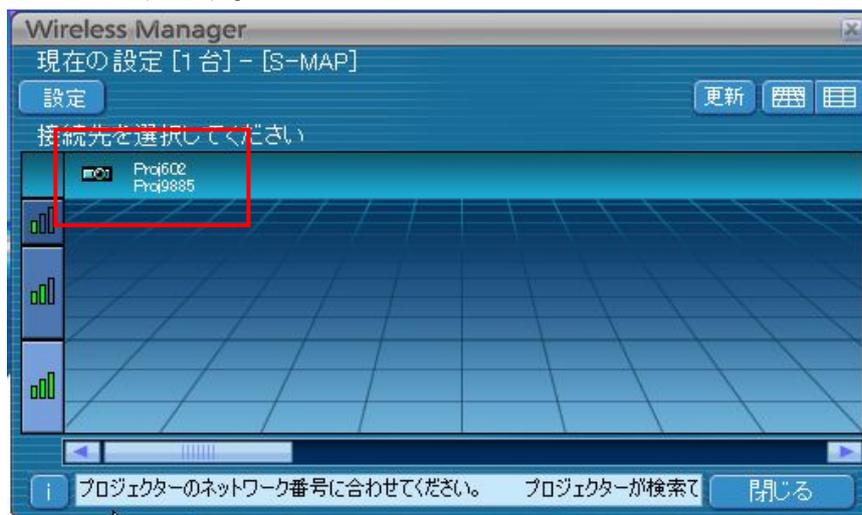
接続手順

1. パソコンを小セミナー室 1 の無線 LAN アクセスポイントへ接続します。
※アクセスポイントを経由した接続方法を設定しています。

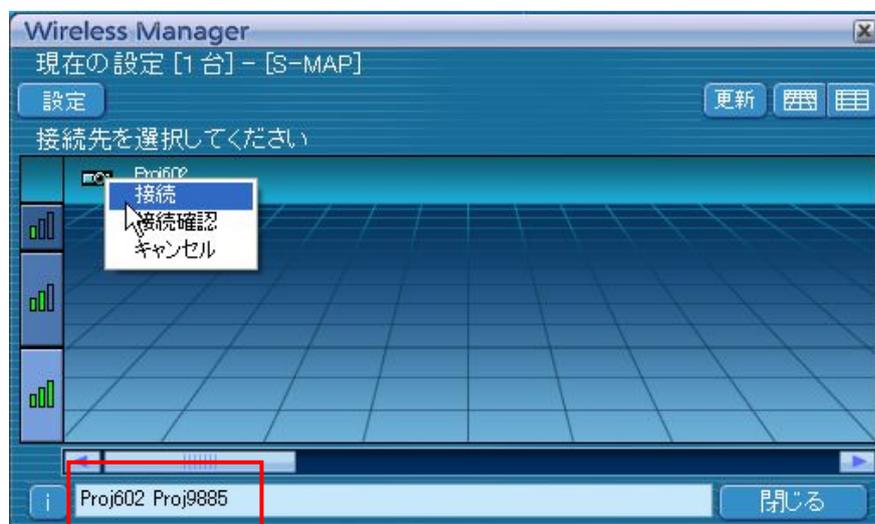
2.  「Wireless Managaer ME 5.0」を起動します。

3. 「Wireless Managaer ME 5.0」を初めて起動すると、ドライバーのインストール画面が表示されますが、インストールが終了すると表示が消えて下記画面が表示されます。

接続するプロジェクターが認識できれば、プロジェクター名「Proj602」が表示されるはずですが。



4. 表示されているプロジェクターをクリックし、接続を選択します。



5. 接続が完了すると、操作用のランチャーが表示されます。



6. プロジェクター入力の切換え
リモコンの「ワイヤレス」ボタンを押して切り換えます。



リモコン画面

7. 投写開始ボタンを押します。



8. プロジェクターからの投写が始まります。
※ このランチャー自身は、プロジェクターの画面には投写されません。

以上が、無線 LAN での接続方法です。ここまでの説明で使用した OS は、WindowsXP
です。その他の MacOS X でのインストールや使用方法については、メーカー取扱
い説明書にてご確認をお願いします。また無線 LAN 接続や操作の詳細な使用方法に
ついてはメーカー取扱説明書をお読み頂いて、ご利用をお願いします。
尚、Windows、MacOSX 以外の OS には、無線 LAN 接続は対応しておりません。

※ 無線 LAN 接続での動画などの投写は、パソコンの能力にもよりますが、
 伝送状態が良くありませんでした。
 (動きが悪く、途中で通信が切断されたりします。)

4-2 RGB (VGA) ケーブルによる接続

1) RGB 接続端子位置

RGB の接続端子は、ドア側(北側)壁に 2 箇所設けています。
 設置位置については、配置図をご確認ください。(配置図 ②、③)

2) 接続端子とプロジェクター入力端子の対応

接続端子とプロジェクターの入力端子は、下表の通り接続されています。
 接続した端子により、プロジェクターの入力を切り換えます。

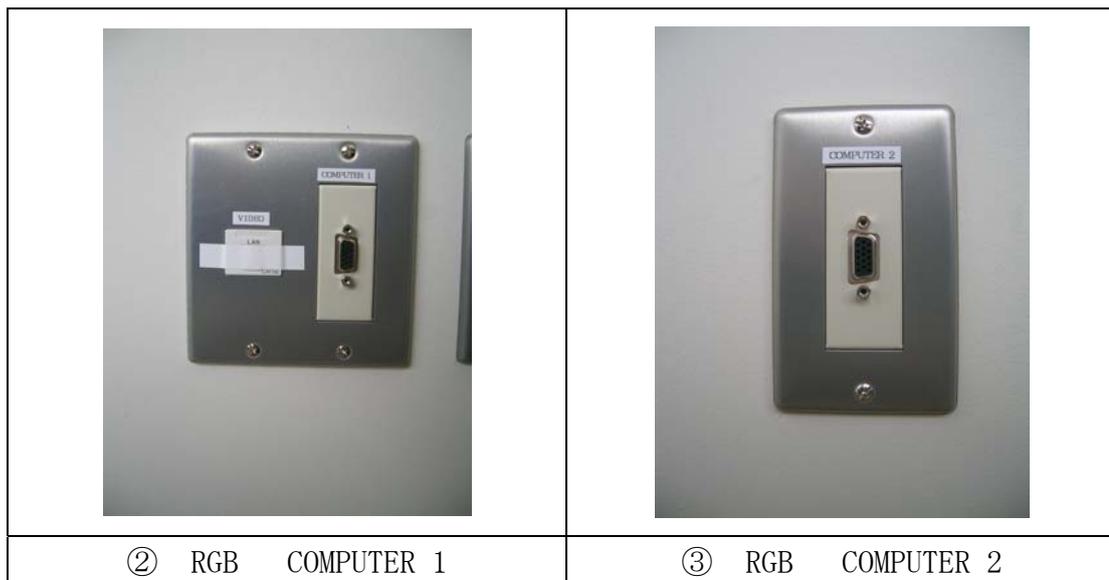
| 配置図名 | ② RGB 接続端子 | ③ RGB 接続端子 |
|----------------|---|---|
| 端子画像 |  |  |
| 接続 | ⇕ | ⇕ |
| プロジェクター 入力側 | COMPUTER 1 | COMPUTER 2 |

3) RGB (VGA) ケーブルの収納場所

キャビネットの下段引き出しへ収納しています。 (配置図 ⑤ キャビネット)

4) 接続手順

1. RGB ケーブルをキャビネットから取り出し、接続端子へ接続します。



2. パソコン側の RGB (VGA) コネクタに接続します。
3. 接続端子に対応した、プロジェクター側入力をリモコンにて切り換えます。
「コンピューター」のボタンを押すと、COMPUTER 1/ COMPUTER 2 の入力が交互に切り換わります。

例えば、② RGB へ接続した場合は、「COMPUTER 1」へ入力を切り換えます。



リモコン画面

4. 投写が始まります。

もし、投写されなかったら、再度ケーブルの接続とプロジェクター入力が正しい事を確認してください。間違いがない場合は、パソコンの映像出力をコマンドにて切り換え操作を行ってみてください。

メーカー別、映像出力切換えコマンドを下記の表に示します。
機種により操作コマンド、操作方法が違いますので、パソコン付属の説明書をご覧ください。

| メーカー | 映像出力切換えコマンド |
|------------------------|---|
| Panasonic NEC |  +  |
| HP SHARP TOSHIBA |  +  |
| IBM SONY |  +  |
| DELL EPSON |  +  |
| FUJITSU |  +  |
| Apple |  |
| その他 |  +  |

5. ビデオ入力について

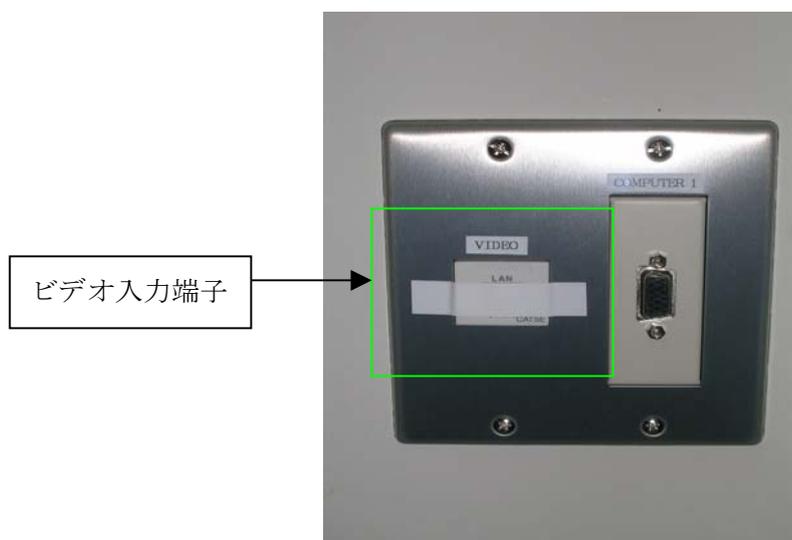
現在、ビデオ入力などの用途を予定しておりませんので、利用できる状態にはありません。利用状況にあわせて、増設する予定です。

※ビデオ入力接続口についての注意

ビデオ入力は、利用状況に即対応できるように、入力口を壁に設けています。

その接続端子は、LAN と同じものです。

テープにて、**使用不可**としておきますので、LAN と間違い、接続しないようご注意ください。



6. 使用後の停止について

- 1). プロジェクターの電源を、リモコンの電源ボタンで OFF してください。
- 2). OFF ボタンを押すと、本体電源ランプが緑色からオレンジ色になり、3 分程冷却運転を行います。
- 3). 冷却運転が終わると、電源ランプはオレンジ色から赤ランプへ変り、主電源を入れた時と同じ、「待機状態」になります。
- 4). 赤ランプが点灯し、「待機状態」になりましたら、主電源スイッチにて電源を切ってください。

※ 急いでいる場合は、主電源スイッチにて直接電源を落しても、故障することはありません。

- 5). 使用した、備付のケーブルなど付属品については、使用後は元の場所へ戻してください。

以上が、利用方法の説明になります。

最後に

プロジェクター利用の最低限必要な情報をまとめた説明となっていますので、詳細な操作方法については、触れておりません。

Mac 利用の方については申し訳ございませんが、Mac での利用手順などについては触れていませんので、メーカー取扱説明書にてご確認をお願いします。

また、各機能の詳細な操作方法については、メーカー取扱説明書をお読み頂いてご利用をお願いします。

メーカーマニュアル/その他

取扱説明書

<http://panasonic.biz/projector/jyosei/pdfs/manual/lcd/omlb80nt.pdf>

Windows ネットワーク機能クイックガイド

http://panasonic.biz/projector/jyosei/pdfs/manual/lcd/omlb80nt_qg_win.pdf

Macintosh ネットワーク機能クイックガイド

http://panasonic.biz/projector/jyosei/pdfs/manual/lcd/omlb80nt_qg_mac.pdf

Windows ネットワーク機能編

http://panasonic.biz/projector/jyosei/pdfs/manual/lcd/omlb80nt_net.pdf

Macintosh ネットワーク機能編

http://panasonic.biz/projector/jyosei/pdfs/manual/lcd/omlb80nt_mac.pdf

利用についての問い合わせ先

| | | | |
|------------|------|------|-------|
| 宇宙線研担当課 | 総務係 | (内線) | 63102 |
| 高エネルギー研究部門 | | | |
| 技術専門職員 | 石塚秀喜 | (内線) | 65108 |